

横須賀市公共施設への再生可能エネルギー導入事業

概要 要: 神奈川県横須賀市の養護学校に、太陽光発電設備及び蓄電池を整備したことにより、地震等による停電時でも電力が使用できるようになり、施設の機能強化が図られた。

対策名: 66 災害時に役立つ避難施設防災拠点の再エネ・蓄エネ設備に関する対策<5か年加速化対策>【環境省】

- 実施主体: 神奈川県横須賀市
- 実施場所: 神奈川県横須賀市
- 事業概要: 特別な配慮が必要な生徒が通う養護学校として、業務継続計画により、災害時にも業務を継続する必要があると定められた施設に太陽光発電設備及び蓄電池を整備。レジリエンス性の向上と平時の脱炭素化に貢献する。

■ 事業費: 約1.1億円

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
再生可能エネルギー導入事業	設備導入	108,400千円	R5-R6
うち5か年加速化対策	設備導入	54,200千円	R5-R6

■ 首都直下地震による想定、効果発現見込み

・災害外力想定及び被害想定: 沿岸に近い地域では最大震度6強の揺れが想定され、横須賀市内でも多数の避難者の発生や最大で12日程度の停電が想定される。

商用電力が停電した場合でも、蓄電池より電力供給を行い、帰宅困難となった生徒が滞在できる環境を3日程度継続することが可能である。

<養護学校における太陽光発電設備>

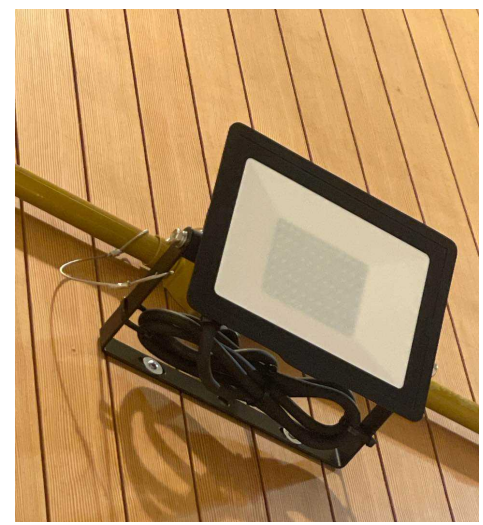


太陽光発電設備: 139.44kW

蓄電池: 49.2kWh

効果見込み

商用電力が停電した場合でも、蓄電池の電力で特定の照明の使用が可能になることに加え、災害対策本部との連絡調整に必要なパソコンやプリンタへ電力供給が可能となる。



写真提供: 横須賀市「非常時専用の照明」